



私の一筆

株式会社アピスMCホールディングス
代表取締役名誉会長 兼 社長

三好 千代子

目標達成迄
諦めず
粘り強く

三好 千代子



【今月の会員様インタビュー】

『信頼と誇りを胸に、
次の時代を切り拓く』

株式会社アピスMCホールディングス
代表取締役名誉会長 兼 社長

三好 千代子

GCCO INFORMATION

ご利用頂くほどに、価値あるエグゼクティブプラン

Event

第60回 メンバースパーティ

大阪府摂津市 市長が語る 摂津市のまちづくりと 展望について

この度、メンバースパーティに摂津市長の森山氏をお招きし、市長就任以来、継続して提唱されている人間基礎教育を柱とした街づくりについてお話いただきます。森山市長の人づくりや街づくりにかける熱い想いから、現代の日本の課題である人口減少社会などについて共に考え、課題解決への糸口を探ります。

■日時 / 2015年5月22日(金)
講演会18:30～19:30 懇親会19:30～20:30



摂津市 市長 森山 一正 氏

略歴

昭和19年1月27日生まれ
関西大学経済学部卒業
昭和44年9月～摂津市議会議員5期
(平成15年5月～同16年5月 大阪府議会議長)
平成16年10月12日～摂津市 市長
(3期目＝平成24年10月12日～)



杉岡 純雄 氏

■ゲスト / 摂津市 市長 森山 一正 氏
■ホスト / 株式会社縄芳 顧問 杉岡 純雄 氏
■会費 / 会員3,500円 / 一般5,500円(懇親会費込み)

第61回 メンバースパーティ

「野球観戦」&「歴史館見学」& 「タイガースOBによるトークショー」

■日時 / 2015年5月27日(水)
■集合 / 阪神甲子園球場歴史館前
■参加費 / 会員5,500円 / 一般6,500円

【当日スケジュール】

15:20 阪神甲子園球場 歴史館前集合
15:20～15:45 スタジアムツアー
15:45～16:00 懇談会
16:00～16:30 阪神タイガースOBトークショー
16:30～17:30 甲子園歴史館見学
18:00～ 試合観戦(楽天戦)



■ホスト / 阪急阪神ビルマネジメント株式会社
代表取締役会長 木戸 洋二 氏

アクティビティ・コミッティ企画

第14回 GCCO ゴルフコンペ

■日 程 / 2015年5月9日(土)
■集 合 / 8:00
■スタート / 8:32
■競 技 / 18ホール/ストロークプレイ/ダブルペリア
■定 員 / 28名(7組)
■場 所 / 東条ゴルフクラブ
〒673-1324 兵庫県加東市新定1188番地4
■参加費 / 16,000円(プレイフィー)
■会 費 / 会員 5,000円/一般 6,000円

アクティビティ・コミッティ企画

テニス同好会

■日時 / 2015年5月16日(土)
15:00～17:00 テニス(ホリゾン北花田本校予定地)
17:30～19:30 懇親会(北花田近辺居酒屋予定)
■集合場所 / ホリゾン北花田本校予定地
大阪府堺市北区北花田町3丁17-6
■費用 / 1人 2,000円
■持ち物 / 運動出来る服、テニスラケット、
シューズ
■懇親会 / 北花田近辺居酒屋予定
3,000円程度(駅徒歩1分)



Lounge

2015.5.1fri～5.29fri チーズ料理フェア

ワインや焼酎と一緒にシェフのおすすめチーズをご賞味下さい。

料金はすべて税金・サービス料が含まれております。

スタッフ紹介

vol.40

きたの こうへい
営業課 北野晃平



GCCOにやって来て約1年半、婚礼中心で動いていましたが、この度営業課に配属されることとなりました。一度ご覧頂いたら忘れられない顔をしているので、既にご存知の方も多いいのではないかと思います。皆様にとって居心地の良い、何度でも来たいと思って頂ける場所をご提供出来るよう頑張っております。宜しくお願い致します。
■趣味 スノーボード・人間観察
■生年月日 1986年11月26日

イベントのお申し込み・各種お問い合わせは

TEL:06-6343-7770

会報に関するご意見・ご要望もお待ちしております。

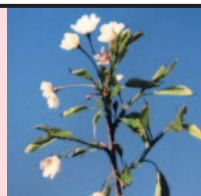
〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-25 ハービスOSAKA 6F
TEL:06-6343-7770 FAX:06-6343-7773

<http://www.gcco.jp/>

メールでのお問い合わせはinfo@gcco.jp



東北の津波到達地点をさくらの花で彩る 『さくら並木プロジェクト』に参加



花の力で震災復興を支援する『さくら並木プロジェクト』

ガーデンシティクラブ大阪(GCCO)は毎年春にNPO法人『さくら並木ネットワーク』が行っている『さくら並木プロジェクト』のボランティア活動に参加しております。東北では100年に一度大津波に見舞われており、先人が避難の目印として建てた石碑がありました。東日本大震災では残念ながらその教訓を生かすことができませんでした。そこで、今回の震災の津波到達最終地点に桜並木を作り、子孫への教訓と、復興のシンボルにしようという取り組みがこのプロジェクトです。GCCOでは『がんばれ!ニッポン!応援ランチ』として販売しておりますランチの売り上げの一部を寄付するという形で支援させていただいております。

石巻市熱田神社に15本の桜を植樹



今年4月4日にGCCOメンバーと地元の方約30名で植樹をおこないました。今回植樹を行った石巻市の熱田神社は、旧北上川の河口にちかく、一部が災害危険区域に指定された湊地区にあります。かつては地域の方から親しまれ、例祭は神輿も出る華やかなものだったのですが、津波で鳥居、樹木、何もかもが流され、小さな御社がぼつんと残るのみとなっていました。近隣の居住が禁止されているため再建は進まず、神社の敷地内にはただ雑草が生い茂るのみで、もの寂しい景色が広がっていました。地域の皆様や造園業者の方にご協力いただき、計15本の桜の木を植えることができました。

4年経ってもなお残る震災の爪痕

震災から今年で4年経ちましたが、まだまだ当時の傷跡は残ったままでした。熱田神社の向かい側は、つい先日まで瓦礫の山が広がっていたそうです。震災前に神社の近くに住まれていた方は、災害危険区域に指定されたため、かつて自分の家があった場所でふた



び暮らすことはできません。しかしそのような状況のなかでも、地元の皆様は復興を目指し、明るく前を向いていらっしゃいました。私たちの植樹を温かく歓迎してくださり、「ガーデンシティさん」と繰り返し声をかけていただきました。どこから出てくるのだろうかという底なしのエネルギーに、逆にこちらが元気づけられました。

前向きにがんばる被災地の方々に 応援するために



また今回、昨年植樹しました仙台市白鳥地区へ訪問してきました。町会長さんをはじめ、地元の方々に温かく迎えていただきました。私たちが植えた桜はたくさんの新芽をつけており、これから何十年、何百年と春を美しく彩っていくことを想像すると、胸が熱くなります。さらに、植樹後には昨年引き続き、GCCO会員である高砂熱学工業株式会社様が行っている、ピザ焼き車で焼きたてのピザを届けるボランティアのお手伝いをさせていただきました。復興に向けてがんばっておられる方々を応援するために、GCCOはこれからも支援活動を続けていこうと考えておりますので、より多くの会員様にご協力いただければと思います。



「信頼と誇りを胸に、次の時代を切り拓く」

三好 千代子 Chiyoko Miyoshi



早すぎた調剤薬局の開設

私は36年前、現在のアピスMCグループの前身である「協立薬品株式会社」を開業しました。いまでも、処方箋とお薬手帳を持って薬局に行くことが当たり前になっていますが、当時は病院外で薬が処方されることはほとんどありませんでした。

ですが、院内処方には二つの問題がありました。一つは「重複投薬」といって、内科と整形外科など複数の病院にかかった場合、それぞれの窓口で同じ薬が二重に投与されること。もう一つは「相互作用」といって、別の病院で出された薬との飲み合わせを考えずに処方されるため、薬同士がぶつかりあい、効果が出すぎたり、反対に出なくなったりすることです。この二つによって、本来の薬の効果を発揮できず病気が治りにくくなることや、副作用が出てしまうことがあります。

一人の患者さんに処方されているすべての薬を把握したうえで、薬剤師が調剤することができれば、このような事態には陥りません。そのため、医療と調剤とが独立した「医薬分業」は、薬剤師にとって長年の夢でした。この夢を実現すべく、私はそれまで薬剤師として勤めていた病院を辞め、茨

PROFILE

- 1979年 病院にて薬剤師として勤務した後、協立薬品株式会社（現 株式会社アピスファーマシー）を設立し、薬局第一号店を茨木市高田に開設。
【現 調剤薬局70店舗】
- 1988年 福祉・介護事業に参入。
アピス事業部設立。
（現 株式会社アピスライフケア）
アピスメイト事業部創設。
- 1998年 【現 訪問介護5事業所】
- 2000年 ケアマネジメント事業部創設。
【現 ケアプラザセンター 5事業所】
- 2004年 アピスプライベート商品
「アピスグルコサミン100」発売。
- 2009年 株式会社アピスMCホールディングス設立。
代表取締役名誉会長兼社長に就任。
- 2011年 アピス児童デイサービス「あい」開設。
【現 児童デイサービス6事業所】

木市内に調剤薬局第一号店を開設しました。

しかし、まだ薬剤師の認知度は低く、病院で働いていても患者さんに「看護婦さん」と呼ばれた時代です。開業してから20年近くの間、苦難の日々が続きました。その頃、国が国立病院を中心に院外処方箋を出すよう促進していたにもかかわらず、実際はほとんど出されていませんでした。薬局内で待っていてもまったく処方箋は来ないため、近所の病院へ毎日のように私自身が営業に行きました。その甲斐もあり、少しずつ処方箋をいただけようになりましたが、まだまだ数は少ないままでした。従業員はどんどん辞めていき、つらい日々が続きました。それでも、患者さんに安心して飲んでいただける薬を提供したい、という想いは捨てきれませんでした。

ところが90年代半ば頃、ようやく追い風が吹いてきたのです。法律が改正され、38の国立病院で完全な医薬分業が達成されました。法律改正の翌年、1999年には私たちも4店舗を新たに開設し、一気に店舗数が倍になりました。国立病院からはじまった医薬分業の波は徐々に全国の一般病院にも広がり、それにつれて私たちも店舗数を増やし、創立36年目の現在では、大阪を中心として全国に70店舗の調剤薬局を抱えています。

また、調剤と並行して1988年から介護事業

をはじめました。介護保険がはじまったのが2000年ですから、まだ高齢化社会が広く問題視されるようになるずっと前でした。介護という言葉が浸透していかないうちから介護用品の販売をはじめ、1998年には訪問介護事業と介護ヘルパー養成事業をはじめました。

調剤も介護も、まだみなさんが知るはずと前からはじめていたため、現在でも我が社を支える大きな柱として発展させることができたのです。その分、苦勞もたくさんしましたが、これまでやってきてよかったと強く思いました。

会社存続のため創業者がなすべきこと

2010年、我が社は30周年という節目を迎えました。これまで調剤や介護事業、卸業などを行ってきましたが、きちんと部署ごとに事業が分けられていなかったため、事業部制として会社を分け、ホールディングス化しました。私はそれまでもと自ら先頭を走り続けていましたが、これにともない第一線を退き、会長に就任したのです。

その時、古希を迎えていたとはいえ、まだまだ現役で働くことはできたのですが、あえて退いたのは理由があります。これまで私は役員らとともに、鶴首を持って先頭に立ち、会社の未来を切り拓いてきました。一人の社員としての働きは十分に自負はありますが、経営者としてマネジメントや、次世代の育成を行っていたかという点、首を横に振るしかありませんでした。

いくら私一人が頑張ったとしても、会社を



30周年記念式典

この先何十年も存続させることはできません。そこで思い切つて若い世代に託してみようと考えたのです。

2代目社長は娘婿なのですが、はじめから我が社に入っていたわけではなく、これまで他の会社で勤務し、さまざまな経験をしてきた人です。社長に就任するやいなや、業績をぐんぐん伸ばし、事業を託してから5年間で売り上げがなんと2倍にまで膨れ上がりました。

2代目は経営手法が斬新で古い型の私にはついていけない感じが多々ありますし、現場のことは30年間見続けてきた私の方がよくわかっていていると思います。しかし、「社長らしさ」という点では私よりもずっと上回っています。創業者は一から土台を作り上げてきた人間ですから、どうしても自ら現場業務に手を出してしまい、一従業員としての業務しかできていませんでした。それを考えると、「いまの社長は社長、私は社長でありながら労働者」であったと思ひ、早いうちから会社を託して正解だったと感じています。

業績が伸びているとはいえ、すべてが上手くいっているわけでもありません。「最近の若い人は出世したがるらない」と言われていますが、我が社も例外ではありません。以前、若手社員に経営幹部になりたいかと聞いたら、ほとんど手が挙がりませんでした。



お茶会のお仲間と

私たちの世代は創業メンバーです。社への思いだけで突き進むことができず、2代目からはそうはいきません。会社を何代

も存続させるためには、私たち創業メンバーの想いを若手にしっかりと伝え、受け継いでいくことがなによりも大切だと考えました。

そのための施策のひとつとして、経営理念と行動原則を書いたカードを従業員全員に渡し、いつでも唱えることができるようにしています。また、紙の上だけではなく、私たち自身が積極的に現場に行き、直接想いを伝えるようにもしています。いまふたたび同じ質問をしたならば、多くの手が挙がるようになってきているのではないかと思うほど、若手社員の意欲を感じるようになってきました。

傘寿で新人賞!?

創業者としてずっと先頭を駆け抜けてきましたので、「仕事に興味」という期間が長かったのですが、そのなかでも茶道は40年ほど続けてきました。病院に勤務していた頃に、院内のクラブに誘われたことがきっかけでした。実は、はじめあまり乗り気ではなかったのですが、続けているうちにどんどんお茶が好きになり、裏千家のお免状を取るまでになりました。習うべきことはすべて習ってしまった、と言えるくらいに極めてしまったのです。

ですが、茶道は立ったり座ったりという動きが多いため、膝の痛みに悩まされるようになり、ルコサミンのサプリメントがあることを思い出したので。近頃よく耳にするグルコサミンですが、我が社は10年ほど前から売っていました。純国産で高品質な成分であるうえ、真面目でも信頼できる方が作ってくださっているものです。実際に飲んでみると、非常によく効いて、膝の痛みはすっかりなくなりました。改めて、私たちが患者さんに提供しているものの品質の高さを実感し、誇らしくなりました。いくらグルコサミンが効くとはいえ、年齢を重ねるごとにだんだんと体力的にきつくなつてき

ましたので、別の趣味をということで、昨年から囲碁をはじめました。囲碁の世界はとても奥深く、何年続けてどれほど強くなったとしても、「まだ上手になりたい」と思ひ続けるもの。だそうです。実は先日、私の入っている囲碁クラブ「棋苑」というクラブで大会が行われたのですが、そのなかの新人戦で私が優勝したのです。80歳の新人賞ということ、とても話題になりました。この歳になつても夢中になつて勉強して、ついつい夜更かししてしまうんです。

編集 後記

絶えることのない情熱の秘密



傘寿のお祝い

取材に際して、はじめて三好さんのご年齢を知り大変驚きました。あれほどの肌のツヤと情熱をお持ちにもかかわらず、なんと今年傘寿を迎えられたとか。魔法でも使っているのではと思ひました。若さの秘訣をお伺いしたところ、悪戯な笑顔で「グルコサミンです」と教えてくださいました。

グループの会長に就任し、第一線から退いてからは、ロータリークラブの会長も勤められていたそうです。毎週の会長挨拶をするために、かなり勉強なされたとか。座右の銘は「目標達成迄諦めず粘り強く」だそう、仕事においても趣味においても、ご自分が納得できるまで努力し続ける三好さんの生き様が、この言葉に集約されているなと感じました。(編集子)

アクティビティ・コミッティ企画 2015年1月29日(木)

「第7回白鷹酒蔵見学」

毎年恒例の酒蔵見学会。この時期だからこそ味わえる新酒を心ゆくまで楽しんで頂きました。

DVD上映でお酒の源となる宮水などの歴史を学び、いざ酒蔵へ。酒蔵では搾りたての原酒を試飲し、現地でしか味わえない新酒を皆様堪能されていました。酒蔵見学の後は、竹葉亭のお弁当を肴に終始楽しんでおられるご様子でした。

来年度もより多くの方のご参加を心待ちにしております。

ホスト 白鷹株式会社 代表取締役社長 澤田朗 氏



ラウンジイベント 2015年2月19日(木)

「早春を味わうワインの夕べ」



「早春を味わうワインの夕べ」と題し、クラブラウンジにてワイン会を開催致しました。

講師にシニアワインアドバイザーの神田ゆかり氏をお迎えし、ピアノの演奏と共に、4種類のワインと和洋折衷のお料理をお楽しみ頂きました。

ご参加頂いた皆様からは、「和食とワインが合う！」「参加してよかった！」と大変ご好評頂きました。

初夏にまた開催予定ですので、皆様是非ご参加下さいませ。

講師 シニアワインアドバイザー 神田ゆかり 氏

ご協力 アサヒビール株式会社、徳岡シミズ株式会社

第59回メンバーズパーティ 2015年2月9日(月)

「リスク管理・情報管理(安全と安心のために)」

～カンボジアPKO、インドネシア警察長官アドバイザー、
総理秘書官、警察庁外事情報部長などの経験から～

2月9日、株式会社全日警の取締役 坪井清様にホストを務めて頂き、専務取締役・警務本部長の山崎裕人様をお招きし、リスク管理・情報管理に関してのご講演を頂きました。

カンボジア・インドネシアに赴任されたご経験を披露頂き、特に最近ニュースを賑わせている国際的なテロ組織のIS(イスラム国)に関しては、これまでの国際情勢の動きや今後のテロ対策のトレンドまでお話し頂きました。

また、情報管理の面では危機管理の重要性、とりわけ組織の構造やSNSを含むメディア対応などの管理を行っていくことが重要とのお話を頂き、今後の企業経営に役立つことが出来たと皆様ご満足な様子でした。

懇親会では山崎様・坪井様を中心に、皆様積極的に交流され活気溢れる場となりました。



山崎裕人 氏



講演会の様子



懇親会の様子



坪井清 氏

講演者 株式会社全日警 専務取締役・警務本部長 山崎裕人 氏

ホスト 株式会社全日警 取締役 坪井清 氏